

平成30年度使用小学校用教科用図書

調査・研究調査員調査研究報告書

道徳科

平成29年度第七採択地区教科用図書採択協議会

<p>書名 項目</p>	<p>新しい道徳</p> <p style="text-align: right;">2 東書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○巻頭のオリエンテーションのページで、道徳の学習についてのイメージをもたせ、主体的に学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○教材の冒頭で内容項目をわかりやすい言葉で示した「学習のテーマ」を掲載し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○巻末の「学習の振り返り」や「これからもかがやく自分に」で、書き込みをしながら自らの成長を実感できるようにしている。</p>	
<p>特色</p>	<p>内 容</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめ問題」を全学年で重要項目として取り上げている。「間接的教材」「直接的教材」の2教材を組み合わせた「ユニット形式」として、複数時間にわたるいじめのことをじっくり考えるようにしている。</p> <p>○全学年で「情報モラル」を扱った教材を配置している。4～6年生は、携帯電話を取り上げ、異なる視点でそれぞれの学年で扱っている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重点項目とし、発達段階に即して、低学年は「自分に関わる命」、中学年は「家族を中心とした命の連続性」、高学年は「戦争や国際親善」を題材として、各学年で3教材掲載している。</p> <p>○4年生以上で、スポーツ界で活躍する人物を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○3年生以上で、読み物教材を問題解決的な学習として展開できるように「とびらページ・考えるポイント・考えるステップ」を掲載し、考える道筋を示している。</p> <p>○「出会う・ふれ合う」ページを全学年に2か所ずつ掲載し、コミュニケーション活動を通して、道徳的価値について考えることができるようにしている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○学校の年間行事や体験活動等の時期を考慮した教材配置をしている。</p> <p>○巻末の付録で教科等の学習や実生活と関連した写真や資料を掲載している。</p> <p>○イラストの色の濃さを工夫している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○教材の冒頭で学習指導要領の4つの視点をマークで示している。</p> <p>○教材を4つの視点と内容項目ごとに分類し、一覧にしたページがある。</p> <p>○漢字は当該学年の前学年までの配当漢字を使用して表記している。</p> <p>○難解な言葉や必要な情報を脚注で解説している。</p> <p>○教材の末尾でキャラクター「こころん」が考えるポイントを示している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○「導入教材」「本編教材」「付録」で構成している。「導入教材」を活用して、「本編教材」を使用する道徳授業にスムーズに進むことができる。「本編教材」では教材ごとに学習のテーマを明示したり、キャラクター「こころん」が考えるポイントを示したりしながら、見通しをもった学習を進めることができる。「出会う・ふれ合う」では、コミュニケーション活動を通して、道徳的価値について考えることができるようにしている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 かがやけ みらい 小学校 道徳 読みもの</p> <p>かがやけ みらい 小学校 道徳 活動</p> <p style="text-align: right;">11 学図</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかわり</p>	<p>○全学年「読みもの」と「活動」の2分冊で構成されている。「読みもの」では、教材ごとに内容項目と主題を明示し、「活動」では、内容項目ごとに教材を配置して発問を掲載し、道徳的諸価値に迫ることができるようにしている。</p> <p>○「読みもの」の巻頭にオリエンテーションのページを掲載し、道徳の時間の学び方をイメージさせるとともに、「活動」では様々な活動を設定して、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深めることができるようにしている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめ問題」については、日常生活で起こりうる状況から、児童自身が問題点を見だし、感じ、考え、判断することができるようにしている。</p> <p>○情報モラルについては、具体的な生活場面に即した教材を配置している。コラムでは、情報の受け手、発信者としての心構えを取り上げている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重点項目として各学年3教材を掲載し、低学年は「身近な命に触れる」、中学年は「命の連続性に気付く」、高学年は「極限まで努力する人々の姿」を取り上げている。</p> <p>○2年生以上の学年で、スポーツ界で活躍する人物や偉人を題材とした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「活動」を内容項目ごとの構成として、同じ内容項目の学習を思い出したり、内容項目ごとに自分の成長を振り返ったりできるようにしている。</p> <p>○「活動」は「考えよう」「見つめよう」などのマークで分類し、問題解決的な学習、体験的な学習など多様な学習を促す構成になっている。</p> <p>資料</p> <p>○「活動」に、教材と組み合わせて活用する特設ページが内容項目ごとにある。</p> <p>○「活動」の巻末に「保護者の方へ」のページを設けて学習内容を解説している。</p> <p>○多様な画風のイラストを掲載している。</p> <p>○35教材の他に6つのコラムを全学年に掲載している。</p> <p>表記・表現</p> <p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次は4つの視点ごとに色分けし、索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p> <p>○学年配当漢字にはすべてルビを付し、配当外漢字についてはその都度ルビを付している。</p>
<p>総括</p>	<p>○教材文を掲載した「読みもの」と発問や体験的学習を掲載した「活動」の2分冊で構成している。「読みもの」では、教材ごとに内容項目と主題を明示し、課題に向かう姿勢をつくりだすことができるようにしている。「活動」では、内容項目ごとに教材を配置して発問を掲載し、問題解決的な学習、体験的な学習など様々な学習活動を通して、児童が自ら考え道徳的諸価値に迫ることができるようにしている。</p>

<p>項目</p> <p>書名</p>	<p>小学校道徳 はばたこう明日へ</p> <p style="text-align: right;">17 教出</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかり</p>	<p>○内容項目ごとに導入時の投げかけを設け、学習のねらいを把握させることで問題解決的な学習を展開できるようにしている。</p> <p>○巻頭に「道徳開き」を設け、自分のことを記述させることで、今の自分を知り、確かな目標をもって主体的に学びを進めていけるようにしている。</p> <p>○巻末に「ふり返り」を設け、1年間の心の変容を見取り、さらによりよく生きる意欲をもたせる工夫をしている。</p>
<p>特色</p> <p>内容</p> <p>資料</p> <p>表記・表現</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめをなくす（黄）」「情報モラル（青）」「生命尊重（赤）」の3点に重点を置き、該当教材には色別マークをつけてわかりやすく示している。</p> <p>○モラルスキルトレーニングを全学年に取り入れ、体験的な学習を通して、行動化を図れるようにしている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「生命の尊さ」に重点を置き、低学年は「命の大切さや誕生と成長」、中学年は「一生懸命に生きることの素晴らしさ」、高学年は「生命の連続性やかけがえのなさ」を取り上げている。</p> <p>○全学年でスポーツ界で活躍する人や偉人を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○教材末尾の「学習の手引き」に「ジャンプ」の項目を設け、役割演技や考察などを通して、道徳的価値を深めることができるようにしている。</p> <p>○巻頭に「道徳の時間が始まるよ」を設け、書くことを通して今の自分を見つめたり、なりたい自分を見つめたりできるようにしている。</p> <p>○全学年で内容項目ごとに教材を配列している。</p> <p>○各学年で4～5本の補充教材を掲載している。</p> <p>○フェルトや人形、立体的な紙芝居風のイラスト、漫画形式など多様な挿絵を掲載している。</p> <p>○内容項目ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次は4つの視点を色分けして示し、索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p> <p>○漢字は教材ごとに初出にルビを付している。難解な言葉や必要な情報を脚注で解説している。</p>
<p>総括</p>	<p>○内容項目ごとに教材を配列している。内容項目ごとに導入時の投げかけを設け、学習のねらいを把握させることで問題解決的な学習を展開できるようにしている。「ジャンプ」を設け、児童に役割演技を行わせることで道徳的価値を深めることができるようにしている。児童の予想される反応も記載し、話し合いの手がかりとしている。スポーツ選手や偉人を取り上げた教材や挿絵のビジュアル面を充実させた教材がある。</p>

<p>項目</p>	<p>書名 道徳 きみが いちばん ひかるとき</p> <p style="text-align: right;">38 光村</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○教材の末尾に学習の手引きとなる「考えよう」を配置し、道徳的問題を明らかにする問い、道徳的価値について考えを深める問いなどを掲載している。</p> <p>○巻頭に道徳の時間について示唆する詩を掲載し、児童が問題意識をもって取り組み、自己を見つめられるようにしている。</p> <p>○1年間を4期に分けて教材を配列し、それぞれの末尾に「学びの記録」を設け、自分の成長を実感でき、自尊感情を育むようにしている。</p>	
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめ」に結びつく教材は、学年の前半に配列し、学級づくりや友達との関係づくりに生かせるようにしている。</p> <p>○「いじめ問題」「情報モラル」は、教材とコラムを組み合わせた「ユニット形式」にし、多面的・多角的に考えられるようにしている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「生命の尊さ」に重点を置き、各学年3教材を掲載している。全学年に同一の研究者の書き下ろし教材を掲載し、発達段階に即して学びが深められるようにしている。</p> <p>○全学年で偉人を題材とした教材、4年生以上でスポーツ界で活躍する人物を題材とした教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○教材の導入部で、児童が課題を意識できるようにするためにキャラクターによる問いが設けてあり、主体的に学びに向かうことができるようにしている。</p> <p>○「学びの記録」に学んだことが生かされたことや自分が変わったと気づいたことを書くことで自分を見つめたり成長に気づいたりすることができるようにしている。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○一枚絵から考える教材、先人や今活躍している人、アニメのキャラクターから学ぶ教材がある。</p> <p>○読み物教材から学んだことを生かす「つなげよう」のコーナーがある。</p> <p>○見開きに大きな写真や絵、日常で起こりがちな場面や漫画形式の挿絵が掲載されている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。</p> <p>○索引は学習指導要領の4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p> <p>○当該学年の配当漢字にすべてルビを付している。注釈で難解な語や必要な情報を解説している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○主体的な学びができるように、めあてや問いを明示し、児童が課題を意識して学習ができるようにしている。1年を4期に分けて教材を配列し、それぞれのまとまりごとに「学びの記録」を配置し、児童が自分の学びの変化や成長を振り返ることができるようにしている。漫画形式、絵本形式、大きな写真、一枚の絵から考える教材など様々な形式に資料が掲載されている。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート</p> <p style="text-align: right;">116 日文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○考えを引き出し議論を活発にするために、全教材に、主題名、導入時発問、あらすじ、ねらいに迫る発問、自分を見つめ今後に生かす発問を記載している。</p> <p>○巻頭のオリエンテーションのページと「道徳ノート」巻頭の「自分のことを書いてみよう」のページで児童が問題意識を深め、自己を見つめられるようにしている。</p> <p>○体験的な学習や問題解決的な学習の手法に適した教材には、「学習の手引き」を設け、学び方の参考例を示している。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「いじめ防止」を最も重要なテーマとして、複数の教材を配置した「ユニット形式」で構成し、学期に1回扱うようにしている。</p> <p>○「情報モラル」については、全学年で取り上げ、高学年では教材と関連付けながら体験的に学ぶ「心のベンチ」を掲載している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重点項目として各学年2教材以上を掲載し、低学年は生命の誕生や成長、中学年以上は震災や戦争等の教材を取り上げている。</p> <p>○中・高学年において、スポーツ界で活躍する人物や偉人を題材とした教材を配置し、生きる喜びや勇気を考えることができるようにしている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○「心のベンチ」のページで、人間関係づくりやソーシャルスキルなど体験を通して、自分の考えを広げたり、道徳的価値を深めたりできるようにしている。</p> <p>○別冊の「道徳ノート」は、教材ごとに書き込みができ、児童が自分を見つめたり、成長を実感できたりすることができるようにしている。</p> <p>資料</p> <p>○「学習の手引き」に主体的・対話的で深い学びを実現するための手法を掲載している。</p> <p>○実在する著名人や漫画のキャラクターから学ぶ教材がある。</p> <p>○大きな写真、アニメ風のイラスト、漫画形式の挿絵を掲載している。</p> <p>表記・表現</p> <p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次は4つの視点で色分け、索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p> <p>○当該学年以上の漢字にはルビを付している。難解な語句や必要な情報を頭注で解説している。</p>
<p>総括</p>	<p>○2分冊で構成されている。教科書の巻頭で道徳科を学ぶ意義や学び方を写真入りで示している。「心のベンチ」では、人間関係づくりやソーシャルスキル体験を通して、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしている。「道徳ノート」は、教材ごとに1ページ分が配置され、自分の考えなどを書き込むことができる。巻末には保護者の書き込み欄を設け、保護者との連携も図れるようにしている。</p>

<p>書名 項目</p>	<p>小学道徳 ゆたかな心</p>	<p>208 光文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○各教材の冒頭に問題意識をもつための問い、本文下段に多面的・多角的に考えさせる問い、末尾に学んだことを日常生活に広げるための提案を示している。 ○巻頭にオリエンテーションのページがあり、道徳の時間の学び方について示し、児童が主体的に学ぶことができるようにしている。 ○巻末に自己評価シート「学びのあしあと」を配置し、教材ごとに学習後の振り返りを行うことで道徳性を育むことができるようにしている。</p>	
<p>特色</p>	<p>特 内 容</p>	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ」を直接的・間接的に児童自身の問題として捉えられるような教材を配置し、いじめ防止に主体的に関わる態度を育めるようにしている。 ○「規則の尊重」「節度・節制」等の教材において情報モラルに関わる内容を扱い、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を考えられるようにしている。 <発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫> ○「生命の尊さ」を重点主題として各学年4教材掲載し、低学年は生きる喜び、中学年は人の命を救うために行動した人々、高学年は実在の人物の生き方を取り上げている。 ○全学年でスポーツ界で活躍する人物や偉人を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○巻末の「学びのあしあと」で、授業後の心の動きなどを記入していくことで、道徳性を育み、自らの成長を実感できるようにしている。 ○コラム「みんなでやってみよう」を全学年に配置し、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築に向けての発達段階に応じたグループワークを提示している。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○各学年で5～6点教材を付加し、実態に応じた指導ができるようにしている。 ○スポーツ選手、著名人、伝記を扱った教材や漫画、実話をもとに考える教材がある。 ○大きい写真やイラスト、漫画形式の挿絵を掲載している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次は4つの視点を色分けし、索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。 ○漢字は前学年までに学習した漢字の使用を原則とし、1～3年はすべての漢字にルビを付している。難解な語句は脚注で解説している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各教材のはじめに、主題と導入時の問いを示し、教材を読む前に問題意識をもつことができるようにしている。さらに、展開時の問い、道徳的価値の理解を深めるための主題に迫る問い、学んだことを生活の中で生かすための問いを各教材に記載し、考える活動を促す構成としている。巻末の「学びの足あと」では、心の動きや学びを記入することができるようにしている。漫画やアニメ、スポーツ選手、著名人、伝記や実話を扱っている。</p>	

書名		224 学研
項目	みんなの道徳	
教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○児童自らが主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことができるようにするために、教材に主題名を記載せず、児童の意識を大切にした構成・展開にしている。</p> <p>○巻頭に道徳の時間の学び方を紹介するページと詩があり、併せて次のページに自分のことを記述させることで問題意識をもって取り組み、自己を見つめられるようにしている。</p> <p>○4種類の「学び方のページ」で、自己の生き方についての考えを深めさせるための道徳的行為に関する体験的な学習活動などを設けている。</p>	
特色	内容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○いじめ問題については、いじめを生まない力を引き出すため、様々な内容項目の教材により多角的・多面的に考えられるようにしている。</p> <p>○情報モラルに関しては、1年生で情報機器使用時の約束、4年生で情報機器使用時の注意点などを取り上げるなど全学年で対応している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「いのちの教育」を最重点テーマとして各学年3教材掲載し、低学年はしっかり生きる、中学年は仲よく生きる、高学年はよりよく生きるを取り上げている。</p> <p>○全学年で偉人を、2年生以上でスポーツ界で活躍する人物を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○学び方のページ「深めよう」で、問題解決的な学習の道筋を提示している。横書きで記載し、本文と区別して自分のこととして捉えることができる。</p> <p>○巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページがあり、1年間の自分の成長を感じたり、これからの生き方を考えたりできる。</p>
	資料	<p>○教材で学習したことを基に、考えを深め、広げるために4種類の「学び方のページ」がある。</p> <p>○詩を基に考える教材、世界で活躍した人物、スポーツ選手等を扱った教材がある。</p> <p>○大きな絵や写真、漫画形式や学校生活でありそうな場面を挿絵として掲載している。</p>
	表記・表現	<p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。目次は4つの視点を色分けして示し、索引は4つの視点と内容項目ごとに分類している。</p> <p>○当該学年以降に担当されている漢字のすべてにルビを付している。難解な語句や必要な情報を頭注で解説している。</p>
総括	<p>○児童が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視している。そのために、あえて主題名を本文に記載せず、児童の意識を大切にした構成・展開にしている。学び方のページ「深めよう」では、話合いや記述などの言語活動を通して、自己の生き方について深められるようにしている。また、漫画や詩、写真、様々な分野で今活躍している人や先人など、様々な形式の教材を掲載している。</p>	

教科（ 道徳科 ）

<p>項目</p>	<p>書名 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳</p> <p>232 廣済堂</p> <p>自分を見つめ、考える 道徳ノート</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○教材ごとに、主題、「考えよう 話し合おう」を表記し、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるようにしている。</p> <p>○巻頭に道徳の時間の学び方を紹介するページと詩があり、児童が問題意識をもって取り組めるように示している。教材の末尾には考えるポイントを示している。</p> <p>○道徳ノートに授業を通して感じたことや考えたことを記述することで、自己を見つめ、自己の生き方について考えることができるようにしている。</p>
<p>特色</p>	<p>内容</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○いじめ問題については、関連する内容項目の教材で様々な道徳的価値を深めることを通じていじめ防止につながるようにしている。</p> <p>○情報モラルについて考えることができる教材を全学年に配置している。中・高学年では特集ページを設け、折に触れて活用できるようにしている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための工夫></p> <p>○「生命の尊さ」を重点項目として各学年3教材を掲載している。2時間連続の扱いにしている学年もある。</p> <p>○全学年で偉人やスポーツ界で活躍する人物を題材にした生きる喜びや勇気を与える教材を掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○教材末尾に、学習の手掛かりとなる「考えよう 話し合おう」を配置し、児童が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできるようにしている。</p> <p>○道徳ノートに「心のしおり」があり、内容項目別に構成され、教材別に学習の自己評価をし、自己の成長を振り返ることができるようにしている。</p> <p>資料</p> <p>○一枚の写真や漫画を基に考える教材がある。</p> <p>○先人の伝記や様々なジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手を扱った教材がある。</p> <p>○教材末尾の「考えよう 話し合おう」で教材に関連した知識理解や人物紹介、格言や本の紹介を掲載している。</p> <p>表記・表現</p> <p>○教材ごとに学習指導要領の4つの視点を色分けして示している。</p> <p>○索引は4つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p> <p>○当該学年の配当漢字を含む未習の漢字すべてにルビを付している。難解な言葉や必要な情報は脚注で解説している。</p>
<p>総括</p>	<p>○教材・道徳ノートの2冊構成になっている。教材ごとに「考えよう 話し合おう」を設け、学習の道筋を示したり、学習を広げたりできるようにしている。道徳ノートにある「心のしおり」では、教材別に自己評価をし、振り返ることができるようにしている。スポーツ選手や偉人の生き方から学ぶ教材があり、実在の人物には人物紹介も掲載している。格言や本の紹介も掲載している。</p>